

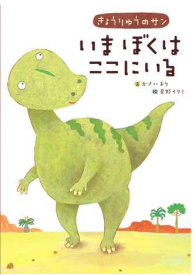
1 あおいちきゅうのいちにち サバンナ



- ① エラ・ベイリー/さく
せなあいこ/やく
- ② 評論社
- ③ 1500円
- ④ E

ライオンのぼうやの目線で、サバンナの暮らしや周りの生き物たちを紹介する愛らしい絵本です。それぞれの動物の特徴を捉えた色鮮やかで可愛い絵が楽しく、見開き見返しに描かれた動物は名前入りで、図鑑的な使い方もできそうです。

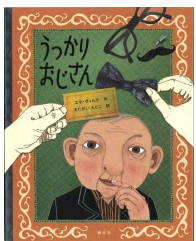
2 いまぼくはここにいる きょうりゅうのサン



- ① かさいまり/文
星野イクミ/絵
- ② アリス館
- ③ 1500円
- ④ E

きょうりゅうのサンは、ティラノサウルスに追いかけられて海の中へ。そして、何万年、何千万年もたち、化石として発見されます。北海道むかわ町穂別で発見された「むかわ竜」をモデルにした絵本。「命のつながり」を感じられます。

3 うっかりおじさん



- ① エマ・ヴィルケ/作
きただいえりこ/訳
- ② 朔北社
- ③ 1500円
- ④ E

「○○○みなかったかい？」と、うっかりおじさんが話しかける形でお話が進んでいきます。さて、身支度を整え、出かけようとしませんが……。あら大変！とても大切なものを忘れていますよ！ユーモアたっぷりスウェーデンの絵本です。

4 うみのあじ



- ① たけがみたえ/作
- ② あかね書房
- ③ 1400円
- ④ E

犬のべらは初めて海にやってきました。海の風はおいしくて、水はしょっぱくて苦いことを知ります。思い切って海に飛び込んだら、初めての世界が待っていました。ユーモアにあふれ、海の楽しさが存分に伝わってくるお話です。

5 かわにくまがおっこちた



- ① リチャード・T.モリス/著
レイン・ファム/絵
木坂涼/訳
- ② 岩崎書店
- ③ 1500円
- ④ E

川に熊が落っこちてしまい、川下りが始まります。どんどん増える仲間たち、どんどん速くなる川の流れ……。気付いたときには、そこには滝。あまりのスピードにドキドキが止まりません。生きものたちをつなぐ、川のお話です。

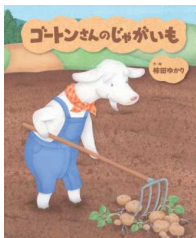
6 こくん



- ① 村中李衣／作
石川えりこ／絵
- ② 童心社
- ③ 1300円
- ④ E

退院して大好きなつばさ園に戻ってきたわたし。ある日、しゅんくんの挑戦を見てすべり台に上りたいと思います。歩行器から手を放し、ひざをぶつけながら階段をあがった先には……。理解する温かさや挑戦する勇気をもらえます。

7 ゴートンさんのじゃがいも



- ① 柿田ゆかり／作・絵
- ② 赤ちゃんとママ社
- ③ 1200円
- ④ E

やぎのゴートンさんは自分の畑でたくさんとれたじゃがいもを、村のみんなにわけてあげることにしました。喜んだみんなは、じゃがいものお礼にいったい何をしてくれるのでしょうか？分け合うことの大切さを学ばせてくれるお話です。

8 このほんよんでくれ！



- ① ベネディクト・カボネリ／文
ミカエル・ドゥリュウ／絵
ほむらひろし／訳
- ② クレヨンハウス
- ③ 1600円
- ④ E

食べられるかもしれない恐怖から、森の動物たちに避けられているオオカミ。でも、その困っている様子にウサギが勇気を出して手をさしのべます。言葉を交わし、お互いに約束を守ることで、新しい友情が芽生えます。それまでの「普通」を越える一歩が描かれています。

9 こびとのおうち



- ① 鬼頭祈／作
- ② WAVE出版
- ③ 1500円
- ④ E

おでかけするこびと。こびとにとってはどれも巨大サイズです。どんぐりも、つみきも、ラムネのびんも、本だっておうちになるんです。みなさんはどんなおうちに住みたいですか？想像力がどんどん膨らむ楽しいお話です。

10 しずかなみずうみ



- ① 山崎優子／絵と文
- ② 至光社
- ③ 1300円
- ④ E

しんと静かな夜の湖。瞬く星空に揺れる水面。やがて太陽が昇り、その光に包まれた時、生きている喜びが身体に満ちてきます。まるで、自分がその湖にいるかのような美しい絵。ぐんぐんどこまでも進めそうな元気がもらえます。

11 しろとくろ



- ① きくちちき／作
- ② 講談社
- ③ 1500円
- ④ E

大好きな人と一緒にいる時間は、なんでこんなにうれしいのだろう。お別れの夕焼けは、なんで寂しいのだろう。なんですぐに会いたくなるんだろう。色鮮やかな感情が広がる絵本で、やさしくあたたかな気持ちが胸一杯に広がります。

12 タタタタ



- ① りとうようい／作・絵
- ② 鈴木出版
- ③ 1300円
- ④ E

サバンナを駆け抜けるチーター。ガゼルを飛び越え、ヌーの群れを蹴散らして駆け抜けていきますが、最後には思わぬオチが待っています。おはなしの始まりと終わりの落差は必見。勢いと迫力あるチーターの絵にぐっと引き込まれます。

13 チキンライスがいく。



- ① はらぺこめがね／作
- ② あかね書房
- ③ 1200円
- ④ E

ケチャップの赤が鮮やかなチキンライスに足が生えた。てくてく歩き出したら、自分とよく似た形のピカピカの太陽やのっそり歩くカメに出会っちゃう……。リアルでシュールなチキンライスの不思議な旅。ラストまでおいしそう！

14 夏とおとうと



- ① ふくだいわお／作
- ② 光村教育図書
- ③ 1300円
- ④ E

ある夏の日、弟と遊びに出かけたぼく。幼い弟は何かと足手まといで思いどおりに遊べません。ところが山に入り、虫取りに夢中になっていると、後ろにいるはずの弟がいなくなっていて……。兄弟の思いが伝わる一冊です。

15 なんでもおんなじ？ ふたりはともだち



- ① コリヌ・アヴェリス／作
スザン・バーレイ／絵
前田まゆみ／訳
- ② フレーベル館
- ③ 1400円
- ④ E

「仲良し」ってどういうことでしょうか。好きな遊びや歌、見た目が同じなこと？でも、全部が同じ友達はいません。それよりも大切なのは、違うことも大切にしてい、気持ちを分かり合うこと。「ちがってるからいい」と言ってくれる友達に出会えたりスのソレルのお話です。

16 にんじんかりかりかじったら



- ① 石津ちひろ／文
柴田ケイコ／絵
- ② 金の星社
- ③ 1300円
- ④ E

「にんじん かりかり かじったら かりかり おえかき はじめたよ。きのみをこりこり かじっていたら かたが こりこりに なっちゃった。」ページをめくると、同じ音をもつ二つの言葉の違いが楽しめるオノマトペ絵本です。

17 ふねがきた！



- ① 笠野裕一／さく
- ② 福音館書店
- ③ 800円
- ④ E

人や車、荷物を運んできてくれる船。船でやってきた人、船の到着を待つ人、船で働く人、船に乗って出かける人……。船が入港してから出港するまで、港にはたくさんの方が集まります。いったいどんな様子なのでしょう。

18 へいわとせんそう



- ① たにかわしゅんたろう／ぶん
Noritake／え
- ② ブロンズ新社
- ③ 1200円
- ④ E

くらべてみると、みえてきます。「へいわのボク」と「せんそうのボク」では、なにが変わるのだろう。同じ人や物や場所を見開きごとにくらべると、平和と戦争のちがいがみえてきます。これまでになかった平和を考える絵本です。

19 ぽっとなころころどんぐり



- ① いわさゆうこ／さく
- ② 童心社
- ③ 1100円
- ④ E

くぬぎの木の春夏秋冬をつづっている本です。丁寧に描かれた絵と、思わず口ずさみたくなるようなリズムの文章で、楽しみながらどんぐりのことを学べます。自然に対する好奇心がますます膨らむ一冊です。

20 まほうつかいとねこ



- ① せなけいこ／作・絵
- ② 鈴木出版
- ③ 1100円
- ④ E

「しろねこでもいいよ。だって、わたしのだいじなねこだもの」「そうね、なにいろだってねこはねこ」お互いが認め合うことの素晴らしさを再確認できるお話です。愛らしい猫たちの絵に、思わず笑みがこぼれます。